

令和5年度 小山市民フォーラム①（8/17午後開催分） 発表のまとめ

【コミュニティ（自治会）・多文化共生】

- ・人の繋がりが今よりもっと強く、そして、活気のある街へ
- ・人口減少やごみ収集の問題
- ・自治会の存続→NPO 法人化をすることで、任期を長くして課題を発見し解決していく
- ・定住人口増加のために企業や工場を誘致する（新幹線の停車駅として強みあり）
- ・交流人口増加のためにイベントができる場所の整備が必要
- ・回覧板を回すが、内容を理解してもらえない、集金するにも一苦勞。回覧物をデジタル化すれば、翻訳が可能となり、理解が進むかもしれない
- ・外国籍住民の方にも自治会に加入してもらい、地域のイベントやお祭りに参加を促す
- ・外国籍のこどもたちが学校の中で日本の文化風習に触れ、母国と日本の両方の感覚を身につけることで、社会も変化するのでは。

【少子化・子育て・教育】

- ・少子高齢化は加速度的にスピードを上げ、2050年には日本の総人口が1億人を切る事が確実視されている。
- ・小山に移り住んで子育てしたいと思えるような魅力ある小山市を私たちがつくる。
- ・子育てのハードルをなくす。
→子育て負担を軽減し、子どもを産み育てたいと思えるような施策に取り組み、大人世代が生き生きと輝き人生ワクワクするような生き方を子どもたちに見せられる環境が必要
- ・男性の育休環境の法整備もされ、育休を取り、育児に真剣に向き合う男性も増えてきた。
が、妊娠・出産は女性の特権でもあり、一方で負担でもある。
→子育ては地域全体で。とくに未就園児を抱える母親のサポートをすることで、地域とのかかわりを深める。
- ・小学校区内にNPOか行政からの補助による駄菓子屋設置。学童保育を利用するための要件のハードルが高いため、子どもたちのサードプレイスとして、駄菓子屋を学童保育的に活用しては？
- ・学校の空き教室を学童保育やフリースクールとして利用し、地元の方を雇用する。
- ・不登校児の問題解決に向けて、リモートで学習を進める、自然の中で生きていく力をつける教育を並行して行う。
- ・不妊治療に関する助成金の拡大とそのPR
- ・20万人都市を目指していく。
- ・IT企業等の誘致を進め、地元での就職先を確保する。
- ・少子化の流れを踏まえると小中学校の統廃合はやむを得ない。
→スクールバスが必要となってくる。そのバスを有効活用し、地域の足として活かす。

【関係人口・Uターン】

- ・30年後、どんな小山市だったら住みたいと思うのか？
→①子どもを育てやすい、サポートが厚いまち ②安全のまち ③交通インフラが整っているまち ④交流できる機会や場所があるまち ⑤仕事があるまち
- ・多様性を認める、受け入れることが大前提
- ・就労人口が減ってくる→働き盛りの人が減る→外国人や女性の活用
- ・コンビニのコミュニティセンター化
- ・おーバスの無人バス化や高齢者の足の確保が必要
- ・交流する機会や場所に関する情報発信
- ・企業誘致

【農業・自然環境】

- ・オーガニック野菜を大規模農業で作り上げる
→そのオーガニック野菜を世界が欲しがる小山ブランド化をする
→小山市の子どもたちは、こういうお野菜を食べて元気になるよ→移住者が増えるのでは
- ・小中学校で農業の授業を必須化する
- ・小山市が世界に誇るオーガニック野菜のサポートセンターを開設したい。
- ・有機農業の大学を開校する。
- ・豊かな緑、平地林を倍増。イナゴ、トンボ、ホタルも動物に優しい共存。
- ・小山市を軽井沢計画避暑地化計画
- ・ホタルが飛び交い、コウノトリも定住する自然と共存するまち
- ・自然や農業なんか意識関心を持つきっかけをたくさん作っていく。
- ・渡良瀬自然学校の常設化
- ・環境税の賦課

【健康・医療・介護】

- ・健康寿命が世界一のまち、世界一ウェルビーイングなまち
- ・認知症サポーター的な健康サポーター、フレイルサポーター
- ・患者力をつける→医者任せにしないで市民一人一人が自分の心身の状態を認識する
- ・居場所の確保、支え合いの場所はある。ボランティアが活動できる場を。

【文化・生涯学習】

- ・文化芸術自然があふれるまち
- ・著名な人を呼んでイベントを開催する。
- ・発表の機会自体を多くする
- ・文化と芸術自然というものを単体で見せるのではなく、繋ぎ合わせて例えば庭園をアートに見立ててエコツーリズムを企画する。
- ・小山の食文化に力を入れる→食のイベント（ラーメンイベント）

- ・特産である大麦を使ったヘルシー料理
- ・クラフトビール大会+野球観戦 イベントを掛け合わせることで相乗効果を期待できる。
- ・ふゆみずたんぼ米の普及 おにぎりを駅で販売するなど
- ・ロブレに図書館を、カフェを併設
- ・IT化に伴い、スマホ PC 教室の PC 講座のさらなる充実 マイスター制度の導入
- ・市の講座の講師に民間人を取り入れる 人材バンクの創設
- ・小山に美術館文化などがあり、その継承をしてほしい
- ・SNS の積極的な利用で広く周知